

優秀賞

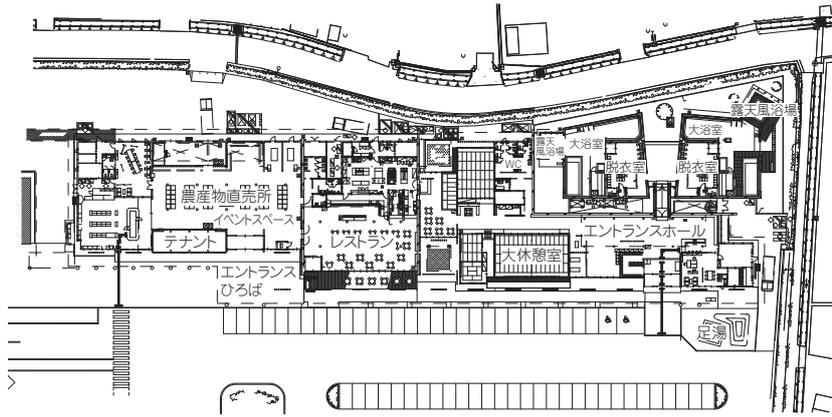
# 道の駅「上品の郷」(東北地区)



温泉保養施設エントランスホール

所在地	: 宮城県石巻市小船越字二子北下 1-1
敷地面積	: 15,536.09 m <sup>2</sup>
建築面積	: 4,234.89 m <sup>2</sup>
延床面積	: 3,577.85 m <sup>2</sup>
構造・階数	: W造 地上1階
事業者	: 石巻市
設計者	: ㈱関・空間設計
施工者	: 日本国土開発㈱東北支店, ㈱丸本組
竣工年月	: 平成 17 年 3 月
総工事費	: 1,150 百万円

全景



平面図

本施設は、北上川河口付近の旧河北町（現石巻市）に位置し、地域の方々の強い思いにより、地域振興・人々の交流の拠点として整備された道の駅です。地域の資源を活かした木造で話題性のある建物とし、地場産材のPRと地域経済の活性化、交流拡大を図る上で効果的な施設となっている。

設計においては単に地場産材を利用するだけでなく、地域の技術を生かせる杉格子構造を採用するなど木材活用の多様性を表すものとしている。また、屋根は光の透過性のある膜構造でシンボリックなデザインとし、道の駅の道標として、集客力アップにつながるとともに、非常に明るい屋内空間を創り出している。保養施設を含む各施設において地域の交流、賑わいの場ともなっており、地域経済にも大いに貢献することが期待される。ハード・ソフト両面において十分に答えられる「新しい公共建築」である。